

Japan Power Fastening

TOPスピード&POWERファスニング
JPF
日本パワーファスニング株式会社
証券コード:5950

第46期事業のご報告

平成20年1月1日～平成20年12月31日

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のことと心から喜び申し上げます。

第46期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の事業のご報告を行うにあたりまして、株主の皆さまのいつに変わらぬご理解と暖かいご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、当事業年度を振り返りますと、原油・素材価格の高騰に始まり、金融危機に端を発した米国経済の悪化が全世界に波及し、国内経済においても円高・株安が進行し景気は急激に悪化する事態となりました。

当社グループの業績につきましても、建築用ファスナー及びツール関連事業、自動車・家電等部品関連事業とも影響を受け、関連市場の需要が減退した結果、残念ながら減収減益となりました。

今後も関連市場の停滞や原油・素材価格の急変など厳しい事業環境が続くと予想されますが、当社グループで保有する中国生産拠点や環境配慮型の表面処理設備などの強みをさらに活かし、積極果敢な事業活動を行っていく所存であります。総合ファスニングメーカーとして、またドリルねじのバイオニアとして、ものづくりの原点に戻り、良質な製品を適正なコストで生産することはもとより、企業の信頼性を一層向上させ、すべてのステークホルダーの皆さまに信頼される企業を目指してまいります。また、当社グループにおいては新年度から導入されました「財務報告に係る内部統制報告制度」についても的確に対応を進めてまいります。

株主の皆さまには、業績の悪化等により大変ご心配をおかけしておりますが、収益向上をはかるとともにIR・広報活動を通じて皆さまへの積極的な情報開示と円滑なコミュニケーションをはかり、経営の透明性をより高めるよう努める所存でありますので今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

日本パワーファスニング株式会社

代表取締役社長

工 肥 雄 治

(Q&A - 1) 当期の連結業績の概況は？

経済環境が悪化する中、当社グループは総合ファスニングメーカーとして、作業性、耐久性、耐震性、そして環境保全に適合する付加価値の高い製品の開発・販売に取り組み、収益改善のために中国現地法人への生産移管の促進や総人件費の抑制など固定費の削減を実施いたしました。また、中国におきましては、自動車部品メーカーへの拡販活動の促進や新事業である中国での住宅建築事業のための現地法人の設立を行いました。

しかしながら当期の連結業績につきましては、売上高は10,609百万円(前期比3.1%減)、営業利益は280百万円(同9.0%減)、経常利益は中国現地法人における円建て借入金等に係る為替換算差損の発生などにより141百万円(同43.0%減)となり、投資有価証券売却損等の特別損失の発生及び少数株主損益の控除等により28百万円の当期純損失(前期は0.2百万円の当期純利益)となりました。

(Q&A - 2) 次期の取り組みは？

次期の見通しにつきましては、世界的な経済危機の状態が続き、日本経済も企業業績の低迷、雇用環境の悪化、株式市場の停滞、円高傾向など不安要素は拡大しており、景気の減退感が一段と強まっております。

「建築用ファスナー及びツール関連事業」につきましては、長期的にも市場拡大が望めない中、現場に密着した営業活動を積極的に行い、また、中国現地法人を含めた生産・物流体制の再構築を行い、良質で信頼性のある製品・サービスを提供してまいります。

「自動車・家電等部品関連事業」につきましては、自動車・家電の国内外の生産がさらに減少すると予想されますので、生産・販売体制の見直しなど収益の確保に注力し、また、内需拡大が期待される中国市場への拡販を進めてまいります。

第47期(平成21年12月期)の連結業績計画

(単位:百万円)

売上高	経常利益	当期純利益	年間配当金
10,000	100	50	2円

事業部門別の概況

建築用ファスナー
及びツール関連事業

74.2%

連結売上高
10,609百万円

自動車・家電等部品関連事業

25.7%

その他 0.1%

建築用ファスナー及びツール関連事業

当事業の主力市場である新設住宅の着工につきましては、個人の住宅購入意欲の減退等により、依然として低い水準で推移いたしました。このような環境のもと、当社グループは主力製品であるドリルねじ及びせっこうボード用特殊ねじのシェア拡大を目指し、全社的な拡販活動を行い、生産・物流体制の再構築などの原価低減活動を行ってまいりました。そのほか、施工範囲を広げられるように改良した新型ガスびょう打機や地球環境に配慮した表面処理の商品化を行い、また、高耐食性ねじ等を建築リフォーム市場にも販路を広げる活動も行いました。

しかしながら、業績におきましては市場の悪化を補うことができず、その結果、外部売上高は7,874百万円(前期比3.7%減)となり、営業利益は181百万円(同6.7%減)となりました。



住宅用締結金具

多量施工用に開発したコイルマガジントイプ(左)
先端がスリムになり施工範囲を広げたプロタイプ(右)

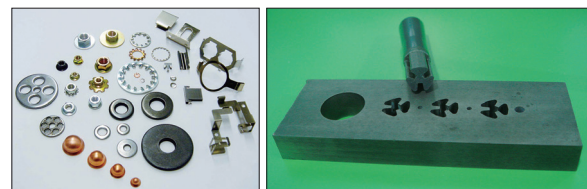
主な製品

- ドリルねじ(テクス、MBテクス、ハイパーテクス) ■せっこうボード用特殊ねじ(コンストB等)
- ドライウォール用特殊ねじ(コンストB、ハイロー等) ■ALC用特殊ねじ(アリンコ)
- 木造用耐震ねじ(モックス) ■コンクリート用特殊ねじ(タップコン)
- あと施工アンカー(ダイナボルト、コプラ、タップスター) ■特殊ピン、特殊ネイル
- 座金組込ナット(ケプス) ■住宅用締結金具 ■ねじ連続打込機(バックオート)
- ガス式釘・びょう打機(トラックファースト、ステイード)

自動車・家電等部品関連事業

自動車業界並びに家電業界では、期後半に発生した米国の金融危機による世界的な経済環境の悪化等により、当事業関連の製品需要も影響を受けました。

このような需要減に対して、日本・中国において新規製品の受注活動を強化するとともに品質向上や原価低減などの活動を行いました。しかしながら、外部売上高は2,723百万円(前期比1.6%減)となり、営業利益は原材料価格高騰の影響も受け172百万円(同21.5%減)となりました。



ナット・ねじ・座金類

金型・治工具

主な製品

- 座金組込ナット(ケプス)
- 座金組込ねじ(セムス)
- 波形ばね座金(スパック)
- 歯付き座金
- 一般産業用締結ファスナー(薄板・小物ばね)
- 金型・治工具

地球温暖化
対策に貢献

北海道洞爺湖サミットの「ゼロエミッションハウス」の施工に 当社の製品が使用されました。

2008年7月、日本が議長国となり地球温暖化対策を主要な議題とした北海道洞爺湖サミットが開催されました。

このサミットでは、経済産業省主催、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団共催のもと、日本の最高水準の省エネ・創エネ・環境技術を世界にPRするため近未来型住宅「ゼロエミッションハウス」が建設(積水ハウス株式会社が協力)されました。

この「ゼロエミッションハウス」の外壁や構造躯体保持には、幾多の検証実験を経て専用に設計・製造された当社の金具・ねじが用いられています。これらの部材はこれからの住宅に求められる高い耐震性・耐久性を満たすための重要な要素となっており、「ゼロエミッションハウス」のコンセプトの一つでもある住宅の長寿命化に寄与しております。

当社は今後も地球温暖化対策に貢献する製品開発及びビジネスモデル構築に努めてまいります。



写真提供: 積水ハウス株式会社

使用された当社の金具・ねじ



洞爺湖サミットにあわせ展示された「ゼロエミッションハウス」(手前の建物)。現在は、積水ハウス(株)関東工場内のゼロエミッションセンターに移築され、「次世代エネルギーパーク」の施設として一般公開されています。

JPFファスニングシステム — あと施工アンカー —

エアコンや照明などを壁や天井にしっかりと固定する工事をファスニング工事と呼びます。ここでは、コンクリートへのファスニング工事に使用する「あと施工アンカー」について紹介します。

あと施工アンカーとは？

コンクリートが固まった後に穴をあけて挿入するボルトです。叩いたり、締付けたりすることで穴の中で拡がったり穴に食い込んだりして抜けなくなります。非常に多くの種類がありますが、現在日本で最も多く使用されているのは「芯棒打ち込み式」といわれるタイプで、アンカーにセットされた芯棒を打ち込むと先端が拡張して抜けなくなるという仕組みです。しかしながらこのタイプには、端部に施工する際にコンクリートが割れたり、ハンマーでの打ち込みに施工者の熟練が必要といった課題があります。

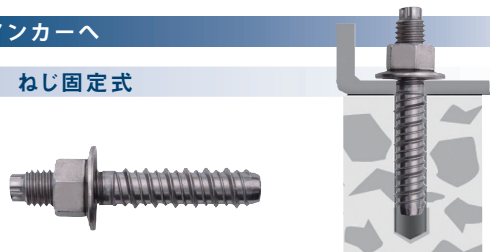
芯棒打ち込み式



JPFの提案 ねじ固定式あと施工アンカーへ

「ねじ」のトップブランドであるJPFは、アンカーにねじの原理を導入し、芯棒打ち込み式の課題を解決しました。ハンマーで打ち込むかわりにインパクトドライバーという工具で回すだけで施工を簡素化し、拡張機構のかわりにコンクリートにねじ込む「かみ合い機構」にすることにより端部への施工も可能にしました。テストマーケティングの結果、多くの設計者、施工者の方々に関心を持って頂きました。今春より本格的に発売いたします。

ねじ固定式



特長	省力化	インパクトドライバーで簡単施工
	分別可	廃棄時には取り外し、コンクリートとの分別が可能 (建築リサイクル法に対応)
	端部固定可	拡張式と違いコンクリートへのダメージが少ない

施工例



▲駐輪ラックの固定

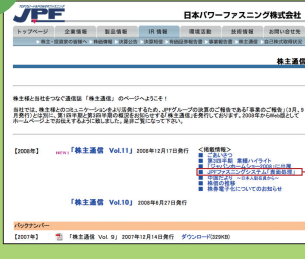


▲ラックの固定

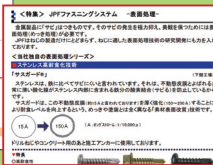


▲手すりの固定

特集



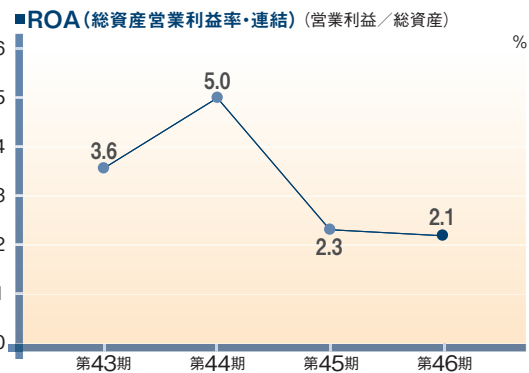
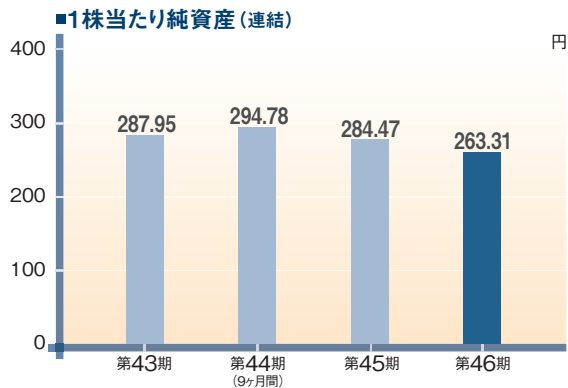
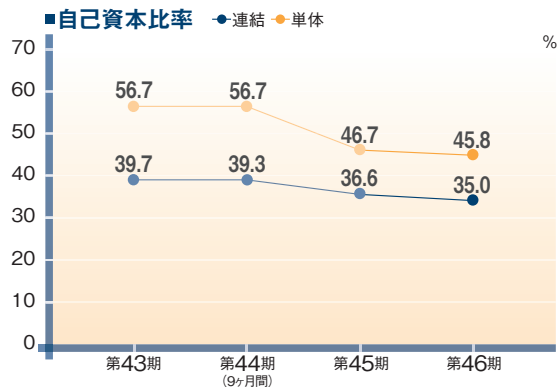
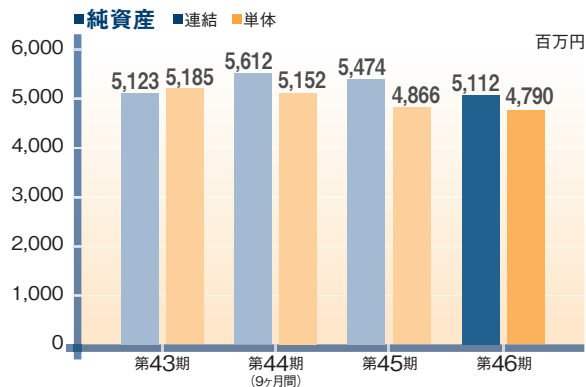
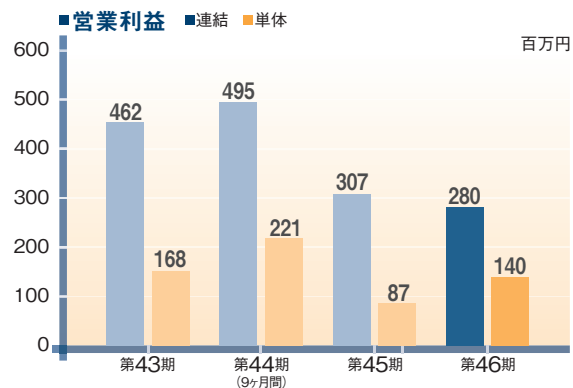
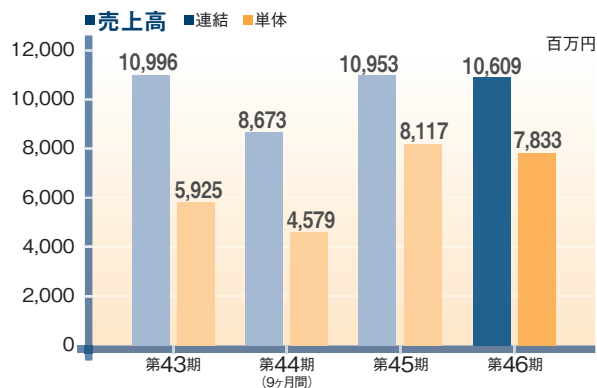
JPFファスニングシステムシリーズ第一弾の「表面処理」を当社ホームページの「株主通信」ページに掲載しております。是非そちらもご覧ください。



http://www.jpff-net.co.jp/ir_info/tsuusin11.html

経営指標

第44期(平成18年12月期)は、決算期変更のため9ヶ月間(平成18年4月～平成18年12月)の変則決算となっております。
平成19年1月1日付で子会社(ジェイ・ピー・エフ・ワークス株式会社)を吸収合併いたしました。



(注) ROAの第44期は12ヶ月換算で表記しております。

単体財務諸表 百万円未満は切り捨てて表示しております。

■貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第46期	第45期	科目	第46期	第45期
	平成20年 12月31日現在	平成19年 12月31日現在		平成20年 12月31日現在	平成19年 12月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	4,717	4,789	流動負債	4,363	3,820
現金及び預金	262	278	支払手形	723	744
受取手形	1,057	1,141	買掛金	682	600
売掛金	987	1,031	短期借入金	1,350	1,350
たな卸資産	1,875	1,870	一年内返済予定長期借入金	1,140	430
繰延税金資産	58	48	一年内償還予定社債	-	300
その他	483	428	その他	467	395
貸倒引当金	△7	△8	固定負債	1,295	1,734
固定資産	5,731	5,632	長期借入金	866	1,301
有形固定資産	3,311	3,413	退職給付引当金	236	241
建物	898	959	再評価に係る繰延税金負債	191	191
機械及び装置	498	495	その他	0	0
土地	1,732	1,733	負債合計	5,658	5,555
その他	182	224	純資産の部		
無形固定資産	19	24	株主資本	4,845	4,858
投資その他の資産	2,401	2,194	資本金	2,550	2,550
投資有価証券	529	511	資本剰余金	1,888	1,893
関係会社株式	1,615	1,356	利益剰余金	555	568
繰延税金資産	86	128	自己株式	△148	△153
その他	194	228	評価・換算差額等	△55	8
貸倒引当金	△25	△31	その他有価証券評価差額金	△80	△43
資産合計	10,448	10,422	繰延ヘッジ損益	△11	15
			土地再評価差額金	36	36
			純資産合計	4,790	4,866
			負債・純資産合計	10,448	10,422

■損益計算書

(単位:百万円)

科目	第46期	第45期
	平成20年1月1日 平成20年12月31日	平成19年1月1日 平成19年12月31日
売上高	7,833	8,117
売上原価	5,849	6,065
売上総利益	1,984	2,051
販売費及び一般管理費	1,843	1,964
営業利益	140	87
営業外収益	39	27
営業外費用	115	98
経常利益	64	16
特別利益	16	20
特別損失	22	72
税引前当期純利益(△損失)	57	△35
法人税、住民税及び事業税	14	14
法人税等調整額	20	9
当期純利益(△損失)	22	△59

■株主資本等変動計算書 第46期(平成20年1月1日から平成20年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年12月31日残高	2,550	1,893	568	△153	4,858	△43	15	36	8	4,866
事業年度中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△35	-	△35	-	-	-	-	△35
当期純利益	-	-	22	-	22	-	-	-	-	22
自己株式の取得	-	-	-	△11	△11	-	-	-	-	△11
自己株式の処分	-	△4	-	16	11	-	-	-	-	11
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△37	△26	-	△63	△63
事業年度中の変動額合計	-	△4	△13	4	△13	△37	△26	-	△63	△76
平成20年12月31日残高	2,550	1,888	555	△148	4,845	△80	△11	36	△55	4,790

連結財務諸表（要旨） 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	第46期	第45期	科目	第46期	第45期
	(平成20年12月31日現在)	(平成19年12月31日現在)		(平成20年12月31日現在)	(平成19年12月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	7,034	7,013	流動負債	6,365	5,931
現金及び預金	839	846	支払手形及び買掛金	1,889	1,856
受取手形及び売掛金	2,651	2,817	短期借入金	2,537	2,589
たな卸資産	2,777	2,802	一年内返済予定長期借入金	1,257	537
繰延税金資産	76	66	一年内償還予定社債	-	300
その他	703	495	その他	680	647
貸倒引当金	△13	△14	固定負債	1,932	2,455
固定資産	6,376	6,847	長期借入金	1,469	1,973
有形固定資産	5,220	5,604	退職給付引当金	236	241
建物及び構築物	1,727	1,886	役員退職慰労引当金	34	48
機械装置及び運搬具	1,230	1,403	再評価に係る繰延税金負債	191	191
土地	2,054	2,080	その他	0	0
その他	207	234	負債合計	8,297	8,386
無形固定資産	134	167	純資産の部		
投資その他の資産	1,021	1,075	株主資本	4,752	4,827
投資有価証券	629	641	資本金	2,550	2,550
繰延税金資産	161	218	資本剰余金	1,888	1,893
その他	262	252	利益剰余金	462	537
貸倒引当金	△32	△38	自己株式	△148	△153
資産合計	13,410	13,861	評価・換算差額等	△57	242
			その他有価証券評価差額金	△80	△43
			繰延ヘッジ損益	△11	15
			土地再評価差額金	36	36
			為替換算調整勘定	△1	233
			少数株主持分	417	404
			純資産合計	5,112	5,474
			負債・純資産合計	13,410	13,861

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第46期	第45期
	[平成20年 1月 1日から 平成20年12月31日まで]	[平成19年 1月 1日から 平成19年12月31日まで]
売上高	10,609	10,953
売上原価	7,982	8,193
売上総利益	2,626	2,759
販売費及び一般管理費	2,346	2,451
営業利益	280	307
営業外収益	63	72
営業外費用	201	132
経常利益	141	247
特別利益	75	17
特別損失	113	81
税金等調整前当期純利益	103	183
法人税、住民税及び事業税	49	122
法人税等調整額	36	△0
少数株主利益(控除)	47	61
当期純利益(△損失)	△28	0

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第46期	第45期
	[平成20年 1月 1日から 平成20年12月31日まで]	[平成19年 1月 1日から 平成19年12月31日まで]
営業活動による キャッシュ・フロー	530	△305
投資活動による キャッシュ・フロー	△308	△736
財務活動による キャッシュ・フロー	△184	1,041
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△41	0
現金及び現金同等物の 減少額	△3	△0
現金及び現金同等物の 期首残高	842	842
現金及び現金同等物の 期末残高	839	842

■連結株主資本等変動計算書

第46期(平成20年1月1日から平成20年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成19年12月31日残高	2,550	1,893	537	△153	4,827	△43	15	36	233	242	404	5,474
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当	-	-	△35	-	△35	-	-	-	-	-	-	△35
当期純損失	-	-	△28	-	△28	-	-	-	-	-	-	△28
自己株式の取得	-	-	-	△11	△11	-	-	-	-	-	-	△11
自己株式の処分	-	△4	-	16	11	-	-	-	-	-	-	11
持分法適用会社の減少に伴う減少額	-	-	△10	-	△10	-	-	-	-	-	-	△10
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△37	△26	-	△235	△299	12	△286
連結会計年度中の変動額合計	-	△4	△75	4	△75	△37	△26	-	△235	△299	12	△361
平成20年12月31日残高	2,550	1,888	462	△148	4,752	△80	△11	36	△1	△57	417	5,112

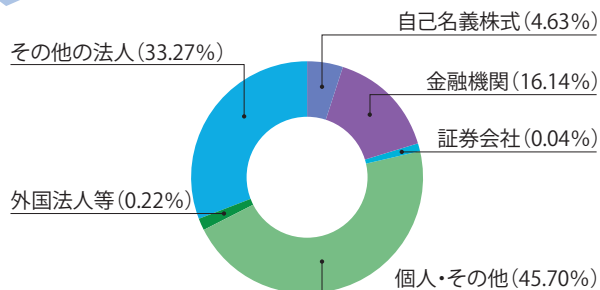
株式情報 (平成20年12月31日現在)

株式の状況

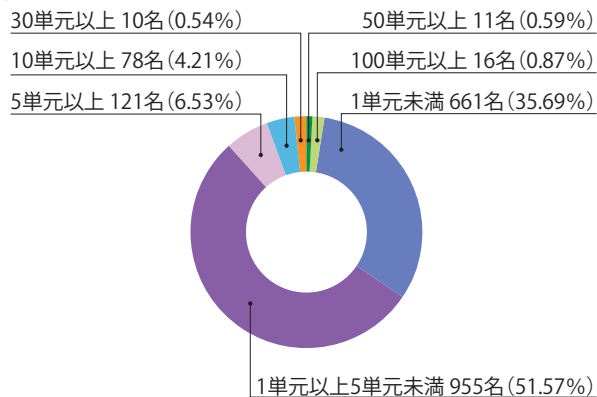
発行可能株式総数	39,800,000株
発行済株式の総数	18,688,540株
単元株式数	1,000株
株主数	1,852名

所有者別株式分布状況

単元単位で計算しております。



所有株式数別株主分布状況

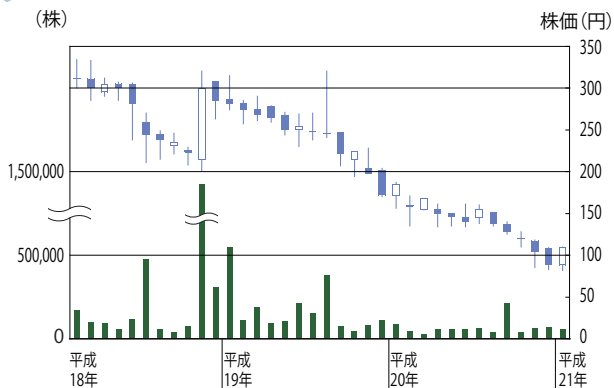


大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(単位:千株)	出資比率
積水ハウス株式会社	3,877	20.75%
土肥雄治	1,713	9.17%
土肥智雄	1,505	8.05%
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	1,000	5.35%
株式会社みずほ銀行	866	4.64%
ジェイ・ピー・エフ共栄会	827	4.43%
株式会社池田銀行	762	4.08%
株式会社滋賀銀行	753	4.03%
日本生命保険相互会社	378	2.03%

(注) 自己株式を856千株保有しております。

株価の推移



会社概要

JPFグループネットワーク

日本パワーファスニング株式会社

設立 昭和39年4月21日(登記上は昭和26年3月26日)
資本金 2,550百万円
事業内容 建築用ファスナー及びツールの製造・販売
本社住所 〒531-0076 大阪市北区大淀中1丁目1番90号
従業員数 228名
営業拠点 仙台・北関東・東京・静岡・名古屋・富山・大阪・山口・福岡
事業所 滋賀
工場 下館・豊岡

■役員(平成21年3月27日現在)

代表取締役社長 土肥雄治
代表取締役専務 土肥智雄
取締役常務執行役員 成田順一 大塚孝幸
取締役執行役員 小山昇 藤井武
常勤監査役 狩野利昭
社外監査役 本郷修 美濃浦利夫
執行役員 尾田昌久 川端満 山極幸雄 澤田匡志

近江ニスコ工業株式会社

設立 平成5年7月14日
資本金 200百万円
事業内容 自動車・家電等部品の製造・販売
本社住所 〒520-2412 滋賀県野洲市六条1018番地1
従業員数 86名
営業拠点 東京・名古屋・滋賀
工場 滋賀

■役員

代表取締役社長 田中政浩
代表取締役副社長 西川功
専務取締役 北脇真治郎
常務取締役 高谷重徳
取締役 岩崎幸和 平井勝正

中国現地法人 蘇州強力五金有限公司

設立 平成5年10月29日
資本金 11,400千USドル
事業内容 金属製品製造販売
本社住所 中華人民共和国 江蘇省太倉市
従業員数 371名

■役員

董事長 土肥雄治
董事・総経理 王鋒

中国現地法人 蘇州強力電鍍有限公司

設立 平成8年5月8日
資本金 700千USドル
事業内容 表面処理および鍍金加工
本社住所 中華人民共和国 江蘇省太倉市
従業員数 64名

中国現地法人 蘇州強力住宅組件有限公司

設立 平成20年8月28日
資本金 300百万円
事業内容 住宅用資材及び部品の製造・販売
本社住所 中華人民共和国 江蘇省太倉市

エンジニアリング会社

ジェイ・ピー・エフ・テクノサービス株式会社

販売会社

東日本パワーファスニング株式会社

東海パワーファスニング株式会社

西日本パワーファスニング株式会社

北海道ニスコ販売株式会社

株主メモ

- 事業年度末 毎年12月31日
 - 定時株主総会 毎年3月
 - 期末配当受領株主確定日 毎年12月31日
 - 中間配当受領株主確定日 毎年6月30日
 - 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〒168-8507
- 郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-288-324 (通話料無料)
専用ホームページ“お手持内容”で一部届出用紙の出力ができます。
<http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>
日本経済新聞
- 公告掲載方法



<http://www.jpf-net.co.jp>



The screenshot shows the JPF website homepage. At the top, there is a navigation menu with links for トップページ (Home), 企業情報 (Company Info), 製品情報 (Product Info), IR情報 (IR Info), 環境活動 (Environmental Activities), 技術情報 (Technical Info), and お問い合わせ先 (Contact Us). Below the menu is a grid of images showing various power fastening tools and components, including a large orange and black power drill, a smaller drill, a screwdriver, a nut, a washer, and a gear. On the left side of the grid, there is a 'TOPICS' section with a list of recent news items, each with a date and a brief description. On the right side, there is a '連絡先' (Contact) section with a table listing the company name, address, and phone number.

日本パワーファスニング株式会社

TOPICS

- 09/02/19 「平成29年12月期 決算要旨」を掲載いたしました。 (PDF)
- 09/02/19 「法定年度の決算に関するお知らせ」を掲載いたしました。 (PDF)
- 09/02/08 「業績予想の修正に関するお知らせ」を掲載いたしました。 (PDF)
- 08/12/17 「株主総会 Notice」を掲載いたしました。
- 08/11/27 「平成29年12月期 中期報告書の訂正報告書」を掲載いたしました。
- 08/11/08 「セニョーボードがJPFが特種建設工場の認定を取得いたしました。」 (08年 第12号 2018.08.08)

「連絡先」

自動車・家電用ファスナー
近江ニスコ工業株式会社
千葉県野田市
0476-22-1111
新州強力五金有限会社



環境に配慮し、大豆油インキとFSC認証紙を使用しております。